

和田精工株式会社 SDGs宣言



当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、積極的な取り組みを通じて、産業基盤の発展と環境保全に貢献してまいります。

代表取締役 和田 一宏

当社のSDGsへの貢献

1.モノづくりにおける産業基盤の発展に貢献

- 長年培ったベアリング製造技術、射出成型によるプラスチック部品製造技術と、幅広い分野にわたる協力会社とのパートナーシップを活用し、モノづくり産業を下支えし、産業基盤の発展に貢献します。
- クリーンルームを備えた工場を有し、精密・清潔が必要とされる、医療健康機器などの小・中型製品から、大型の医療・介護用樹脂製品の開発・製造を行うことにより、ヘルスケア分野の発展に貢献します。
- 効率的な生産体制や、24時間体制の製造ライン、多軸ロボットによる自動組み立てにより、短納期・高品質・効率化を図り、お客様と共に発展します。



2. 環境に配慮した企業活動

- 自社製の自動検査機などの活用による不良率の低減と、成型過程で出る樹脂は再利用可能なものは粉碎し、リサイクル利用することで、廃棄物の発生を抑制します。
- 工場の冷却水は循環させて、水資源の使用量を削減します。

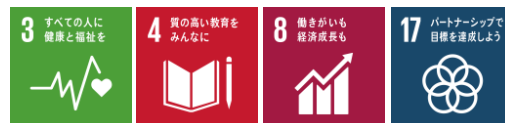
<当社の目指す環境負荷軽減対策>

- ・現在、廃棄処理しているPET樹脂（ガラス入）を再利用化を実現することで、環境負荷軽減を目指します。
- ・卵殻や木粉など生物由来の原料を利用することで、化石資源由来のプラスチック使用量を削減し、Co2削減を図ります。またその実現に向けて射出成型ノウハウを蓄積し、環境に優しい商品の開発、提案を目指します。



3.働きやすい職場環境・地域貢献への取り組み

- 従業員のワークライフバランスを考えた、年間休日の見直しや福利厚生向上に取り組めます。
- 従業員の技術向上のための資格（プラスチック成形技能検定・電気主任技術者）取得を支援します。
- 新設工場（和歌山工場）において、車いす対応トイレの設置など、バリアフリー化を進めます。
- 地元人材、シニア人材を積極的に採用し、働く場を提供することにより、地域雇用を進めます。また地元の祭事などにも積極的に協力し、地域貢献に取り組んでいきます。



SDGsとは・・・

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略であり、2015年9月に国連で採択された世界共通の目標です。2030年までに政府、企業、地域社会のあらゆる人がSDGsを実現するための役割を担っています。